

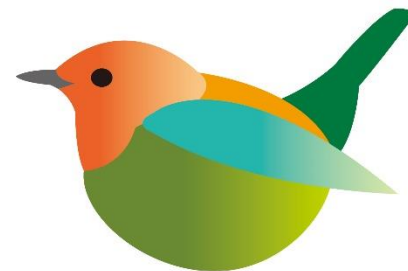
あなたのお子様をグローバルエリートへ！

8歳からの冒険が子供を育てる

イギリス正規留学プログラム

By Robin Education Ltd

小中高生留学コンサルタント：ダシルバ由美子



目次

1. はじめに	3
2. イギリスのボーディングスクールでの教育とは	5
3. イギリス正規留学で得られる8つの成果	12
4. イギリス正規留学前に知っておきたい9つのポイント	15
5. 留学前準備について	16
6. 留学時に必要な英語力について	17
7. イギリスの教育システムへの適合	19
8. 学校選びのポイント	21
9. 学校のレベルを知るには	22
10. イギリスの受験について	23
11. ガーディアン	24
12. 留学費用	26
13. 親の心得	27
12. ロビンエデュケーションのサービス	28
13. プロフィール	30

1. はじめに

グローバル時代に求められる人材に育つために

21世紀に入り世の中IT時代となり、情報はあふれ、日常生活はIT無しに回らなくなってきました。国境を越えてどんどん人や物が移動し、世界はより狭くなり、遠くの国で起こっている事がインターネットでほぼ同時に知りえる時代になりました。

人工知能の発達で人間の仕事はロボットに取って代われ、10年後、20年後に生き残っている仕事は何なのか、もはや予測が追いつかなくなってきました。

ボーダーレス、グローバル、と呼び方は色々ですが、親世代が生きて来た時代とはまったく違う未来を生きることになる子供達をどのように教育していけばいいのか、たくさんの情報があふれる中、迷われている方も多いことでしょう。

仕事で使えるレベルの英語を身に付けてほしい、海外に留学させてみたいけど親子で英語が出来ないしどこの国が良いかもわからない、どうすればグローバル時代を生き抜ける子供に育つのかわからない

といったお悩みを抱えていらっしゃる方に、**イギリスのボーディングスクール**への留学をお勧め致します。

世界の富裕層の間ではイギリスのボーディングスクールはすでに当たり前に選択肢の1つとなっています。

- 1人1人の生徒に気を配り、時間をかけ、丁寧に指導していくサポート体制。
- 学力だけでなく、音楽やスポーツを推奨し、ボランティア活動を通してバランスのとれた豊かな教養を身に付けられるように考えられた教育。
- 質の高い教育環境で、有能な教師やスタッフの元、少人数制で行われる授業。
- 世界各国から集まった生徒達と文化の壁を越えて友情をはぐくむ。

イギリスのボーディングスクールは、そんな素晴らしい教育の場なのです。

2. イギリスのボーディングスクールでの教育とは

私は10年以上日本人留学生の後見人（ガーディアン）として、小学校～高校まで、様々なボーディングスクールに留学しているお子様のサポートをしてきました。

ボーディングスクールに入学し、初めは自信がなく静かだった子供達が1年もすれば英語を流暢に話し、お友達や先生と交流し、楽しそうに学校生活を送る姿を何年も見てきました。

頻繁にかかってきていた電話が留学3か月後にはピタッととだえ、“うちの子からまったく連絡がありません！！”というお母さんからの悲鳴を何度も聞きました。

家に電話をするのを忘れるほど学校生活に夢中になり、1年後には“もう日本の学校に戻りたくない”と皆口をそろえて言いました。**子供達を夢中にさせるボーディングスクールとはどういう場所なので**

しょう？



2.a) 質の高い教育環境

ボーディングスクールを訪れたことがある人は、まずその大きさに目を見張ることでしょう。

広大な敷地の中には、**教育に必要な設備が全て整っています**。最新のICTシステムが完備された教室、寮、シアター、スポーツホール、コンピュータールーム、実験室、アートルーム、音楽室、デザインテクノロジールーム、インドアプール、ゴルフ場やテニスコートのある広い校庭・・・



クラスは少人数制で10～12人程度。算数や英語の**能力別**にクラス編成がなされます。

イギリスの学校では、全てフォーム（クラス）とセット（レベル）に分けられます。セットは普通3つあり、トップセット、ミドルセット、ボトムセットとよばれます。

丁寧な指導のもと、それぞれの能力にあったペースで学習が進められていきます。

学校には教室、寮、食堂、アートルーム、コンピュータールーム、シアター、スポーツホール、インドアプール、テニスコート、ゴルフコース、音楽室、チャペル、デザインテクノロジールームなどが完備され、最新の設備が揃えられている。

プレップ（小学校）



シニアスクール（中高校）



2.b) 情操教育を奨励

授業終了後は音楽やスポーツの時間。
音楽の個人レッスンは大人気で、ほとんどの生徒が
1つか2つの楽器を演奏します。

ピアノ、バイオリン、フルート、声楽、などは特に人気が高く、
またバレエ、ゴルフ、空手、テニスなども個人レッスンや
グループレッスンが行われています。



土曜日はスポーツデーで、ネットボール、フットボール、ラグビー、クリケットなどの学校対抗の
試合が頻繁に行われています。

スポーツ強豪校のパブリックスクールともなると、国内チャンピオンやオリンピック選手も出る
レベル。それに見合った施設が校内にあります。

コンサートやスポーツデー

保護者を招いたコンサートや劇、スポーツの試合は頻繁に行われます。



2.c) リーダーシップ教育

イギリスのボーディングスクールでは、少人数のエリートを徹底的に教育し、国を引っ張るリーダーを育成しています。

そのためホールに集まって意見交換をするディベートが盛んに行われます。イートンのスカラー生は、教師陣を囲んで毎昼食時にディスカッションを行うそうです。

歴代イギリス首相や有名企業のオーナー、有名人には私立校出身者が圧倒的に多くをしめます。元ロンドン市長のボリスジョンソンは最も入学が困難と言われるイートン校のキングススカラー生でした。同じく元イギリス首相のデビッドカメロンもイートン出身です。バージングループの創設者リチャードブランソンはStowe、シャーロックのベネディクトカンバーバッチはHarrow、キャサリン妃はMarlborough。皆さん堂々とした立ち居振る舞いが身についています。

2.d) 自立心の確立

親元を離れ寮で生活することで自立心が養われます。また規則正しく生活することで1日を有意義に過ごす良い習慣が身に着きます。

1日のスケジュールは細かく決められています。
授業、スポーツの後は夕食、その後プレップとよばれる自習時間。宿題をしたりテスト勉強をしたり・・・。自習後はハウスミーティングや寮の皆ですごす息抜きの時間。

就寝時間は日本よりかなり早めで、小学生の間は午後9時～10時には消灯となります。

お部屋は小学生は5～6人でシェア、中高校生は2人部屋や個室が多くなります。

週末外泊やハーフタームとよばれるお休みには学校が閉まるため、そのたびに自分でパッキングをして外泊の準備をします。

小さいお子さんやまだ慣れていない場合でも大人の手助けなしに自分で荷造りしたり、戻って来た時はまたもとに戻したり、そういうことを繰り返していくうちに、いつのまにかササッと荷造りが出来るようになります。

3. イギリス正規留学で得られる8つの成果

イギリスのボーディングスクールで得られるものは英語力だけではありません。

留学先には様々な国から来たバックグラウンドの違う留学生がいます。周囲の人達と仲良くやっていくためには、**高い英語力にくわえ、コミュニケーション能力、異文化への理解力、異文化の中でサバイバルする適応力**が必要とされます。

留學生活ではこれらの能力が養われるのに加え、親と離れて生活することで**自立心**がつきます。

また世界各国からの留学生と友情をはぐくむことにより、世界中に**人脈**が出来、それはお子様の一生の財産となります。

イギリスのボーディングスクールは伝統的に国を引っ張るリーダーを養成してきました。そのため**リーダーシップ教育**にも力を入れています。

また音楽やスポーツを推奨し発表会や試合を頻繁に行ったり、外部からのレクチャラーを呼んでセミナーを開いたり、勉強だけではなく**深い教養**を身に着けることにも力を注いでいます。

イギリス留学の成果



イギリス留学で得られる 8 つの成果こそ、**これからのグローバル時代に求められる要素**であり、専門知識に加えこれらの要素を持った人材は、どれだけITが発達し人間の仕事がロボットに取って代われようとも、**サバイバル能力を発揮し、自分で道を切り開き、人脈を駆使し、英語を使い、世界を舞台に生きていける**はずです。

お子様の未来のために、イギリスへの正規留学に挑戦してみませんか？

イギリス正規留学前に知っておきたい9つのポイント

1. 留学前準備
2. 留学時に必要な英語力
3. 年齢別によるイギリスの教育システムへの適合
4. 学校選びのポイント
5. 学校のレベルを知るには
6. イギリスのお受験について
7. ガーディアン
8. 留学費用
9. 親の心得

1. 留学前準備について

学習面では：

英会話を習う（できればイギリス人の先生から）
単語を出来るだけ覚える
英語のDVDなどで音に慣れる
算数の先取り学習
日本語（読み書きの学習）

長期のお休み中には：

英語レッスン付きホームステイをする
サマースクールに参加する

生活面では：

なるべく自立させる
礼儀正しい言動を身に着ける
規則正しい生活を心がける
携帯を使用しすぎない

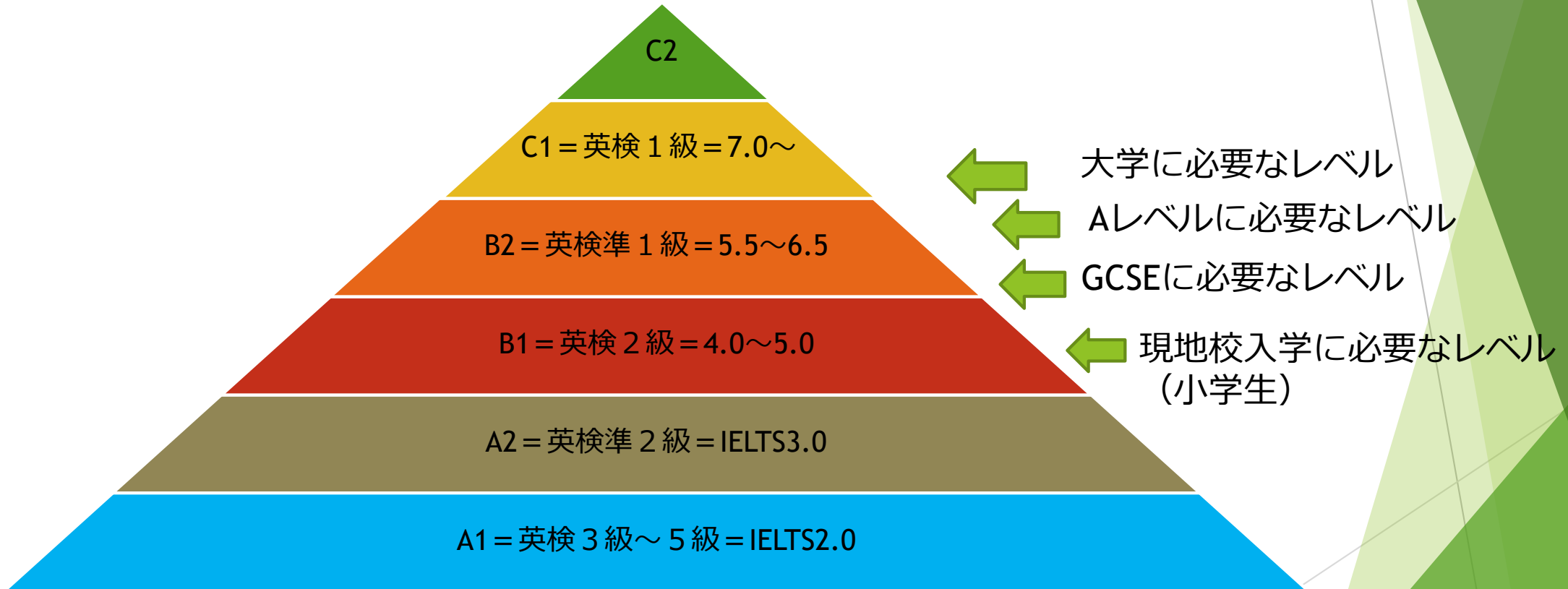


2. 留学時に必要な英語力について

お子様の年齢によって必要な英語力は変わってきますが、目安は以下になります。年齢が上になればなるほど高い英語力が求められます。英語力が足りていない場合は、準備校で英語力が上がるまで過ごします。

	英検	CEFR
小学生留学	2 級	A2-B1
中学生留学	2 級—準 1 級	B1-B2
高校生留学	準 1 級—	B2-C1
大学留学	1 級	C1-

CEFR/IELTSによる英語レベルと英検対照表



3. 年齢別によるイギリスの教育システムへの適合

イギリス留学をされる時に最も考慮しなければならないことは、**何歳で留学しどの学年に編入するか**、です。そのためにはイギリスの教育システムがどうなっているのかを知らなければなりません。

イギリスの義務教育は4歳の秋から始まります。年齢と履修段階を**キーステージ**で分けており、各キーステージで履修しなければならない事が決められています。5－7歳はキーステージ1、7－11歳をキーステージ2、11歳－14歳をキーステージ3、その後GCSE、Aレベルと進んでいきます。

GCSE：義務教育終了時（16歳）に受ける国家試験。コースは2年間で14歳から始まります。主要3科目（英数理）＋選択科目＝合計8～10科目の試験を受けます。結果は1～9までで表示されます（9がベスト）。

AレベルまたはIB（インターナショナルバカロレア）：義務教育を修了した後、大学進学をしたい生徒だけが6thフォームとよばれるカレッジへ行き、さらに2年間のAレベルかIBコースを取ります。Aレベルは最低3教科、IBは6教科＋エッセイ＋TOK＋CAS。結果はA＊～Eまでのグレードで出されます。

6th
フォーム

2年
コース

A2 or IB 2年目	Year13	17 – 18歳
Aレベル or IB 1年目	Year12	16 – 17歳
GCSE 2年目	Year11	15 – 16歳
GCSE 1年目	Year10	14 – 15歳
キーステージ 3	Year 9	13 – 14歳
キーステージ 3	Year 8	12 – 13歳
キーステージ 3	Year 7	11 – 12歳
キーステージ 2	Year 6	10 – 11歳
キーステージ 2	Year 5	9 – 10歳
キーステージ 2	Year 4	8 – 9歳
キーステージ 2	Year 3	7 – 8歳
キーステージ 1	Year 2	6 – 7歳
キーステージ 1	Year 1	5 – 6歳
	レセプション	4 – 5歳

← 途中入学
不可

← シニア

小学生留学：～11歳まで

英語力が足りている場合→現地校への編入。

英語力が足りていない場合→準備校で1～2学期過ごした後、現地校へ編入。

小学生留学：12歳

英語力が足りている場合→13+の試験を受けて現地校へ

英語力が足りていない場合→準備校で1年過ごした後、14+で現地校へ編入もしくは小中高一貫教育の学校へ編入

中学生留学：

英語力が足りている場合→14+で現地校へ編入

英語力が足りていない場合→準備校で1年～過ごした後、インターでGCSE 1年または2年コース

高校生留学：

英語力が足りている場合→6thフォームから現地校へ編入

英語力が足りていない場合→1年学年を落としてGCSE 1年コースを受けてから6thフォームへ

4. 学校選びのポイント

学校選択にあたって考慮するポイントは以下のようになります。

- 地域（北部に行くほど気候が厳しく英語に訛りがある）
- 男子校、女子校、共学（トップ校になるほど男子校か女子校が多い）
- 寮生の割合（フルボーダーが多いのが理想）
- 留学生の割合（20%以下が理想）
- 週末の過ごし方（特に小学生の場合）
- リベラルな学校か、保守的な学校か
- 英語サポートの有無
- 生活面でのサポート
- 進学先（学校のHPをチェック）

5. 学校のレベルを知るには

学校のホームページには試験結果（GCSEとAレベル）が載っていますので、それを参考にしてください。レベルが高い学校ほどA～A*の割合が高くなります（公立校も含めた全国平均はAが30%程度です）。

進学先（シニアスクールや大学）、大学ランキングも参考にしてください。

また試験結果による学校のランキングを掲載しているサイトもあります。

6. イギリスのお受験について

プレップスクール（私立小学校）への受験：
英語、算数、リーズニング、面接、1泊お泊り

プレップからシニアスクール（中高校）への受験：
面接、学科試験（英語、数学）、リーズニング
CE（コモンエントランス）

シニアスクールへの編入、6thフォームの受験：
英語、数学、サイエンスなど
Aレベルでの選択科目
面接

プレップスクールやシニアスクールへの受験は面接と内申書が重視されます。
シニアスクールへの編入、6thフォームへの受験は学力重視となります。

7. ガーディアン（現地後見人）

小中高生がイギリスへ正規留学するためには、現地にガーディアンという保護者の代わりになる後見人がいることが義務付けられています。ガーディアンは学校とご両親の間の連絡、週末やハーフタームの宿泊場所手配、留学中の細々としたお世話など、あらゆる面でお子様とご両親をサポートする存在です。ガーディアンはイギリス人の場合もありますし、現地在住日本人の場合もあります。地方の学校へ行くと日本人ガーディアンは見つかりにくくなります。

8. 留学費用について

ボーディングスクールの学費＋寮費は1学期ごとに請求され、1学期1万ポンド前後です（3学期あるので1年間で3万ポンド前後）。

学費＋寮費の他に、ガーディアン費用、往復航空券代（年3～4回）、空港～学校間の送迎代、音楽やスポーツの個人レッスン代、遠足やアクティビティ費用、EFLレッスン代、制服代、などの出費が1年で約1万ポンド、合計すると約4万～5万ポンド見ておく和良好的でしょう（1ポンド＝145円とすると580万円～700万円）。

レートが悪くなった場合に備え、余裕をもって予算を見積もられることをお勧め致します。

9. 親の心得

イギリスは日本と同じ島国で、イギリス人気質も欧米人の中では日本人と比較的似ています。穏やかで控えめで、声高に主張する人はあまりいません。

それでもやはり文化や習慣は違いますし、問題が起こった時の対処法なども日本とはかなり違います。事務処理なども大雑把でよく間違えます。

ご両親は、出来るだけ小さなことは気にせず、日本の学校とは比較せず、イギリスのやり方を尊重し、お子様の頑張りを見守っていただきたいと思います。

またイギリスの教育は“叱咤激励”するよりも“褒めて育てる”ことを基本にしていますので、お子様の性格にもよりますが、留学中はイギリス式に従ったほうがうまくいくように思います。

ロビンエデュケーションのサービス

▶ スカ이프による無料個別相談

正規留学は、年齢、英語のレベル、留学期間、ご希望など、それぞれのバックグラウンドが異なりますので、個別にご相談になられるのが一番です。初回2時間。お申し込み後は無制限。

▶ オンラインによる英語力診断テスト

オックスフォードオンラインプレイスメントテストというリーディングとリスニングの試験を受けることにより、英語力がEuropean Frame Workという国際基準で瞬時にわかります。試験はご自宅でPCを使って好きな時間に受けることができます。

▶ 準備校手配

現地校入学前の準備校を手配致します。

▶ 現地校手配

お子様の学力と性格にあった現地校を手配致します。

▶ ガーディアンサービス

留学後はガーディアンとしてお子様をサポート致します。弊社スタッフは全員日本人ですので、日本語でのやり取りが可能です。



ロビンエデュケーション代表紹介

ダシルバ由美子

在英20年。サリー州ギルフォード在住。
家族はオランダ人の夫と息子2人（大学生と高校生）。

日英での旅行社勤務の経験を活かし、
1997年にロビンエデュケーションを設立。ホームステイ、語学学校、サマースクール、親子留学などを手配。中高生のガーディアン業は経験10年以上。

趣味はテニス観戦、ヨーロッパ各国の旅行、お料理。

ロビンエデュケーション

Guildford, Surrey UK

info@robinedu.com

www.robinjpass.com

www.robineduuk.com

